

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第121号

2018年8月17日
電話 3605-5594
http://kabara-tomon
okai.kenwa.or.jp/
mail:kabarashibu@ya
hoo.co.jp

核兵器禁止を誓い合う かばらから二人の代表が参加しました

今年8月4日より6日まで広島市をメイン会場として「原水爆禁止世界大会」が開かれました。この大会には世界中から「核廃絶」をめざし、様々な人々が集まりました。今年の世界大会は昨年7月に国連で採決された「核兵器禁止条約」



長崎平和式典で平和宣言読み上げ鳩が舞う

を歓迎し、この条約を広げるため各国に働きかけることを誓い合いました。また、国連事務総長が来日し「核兵器禁止条約」に触れた発言をして大会の参加者を励ました。それに対し被爆国の安倍首相は「核兵器禁止条約」に何一つ触れることなく、「子供代表の話には胸を打たれたが安倍首相の話には失望した」と言う感想が方々から聞こえて来ました。今回、この世界大会には蒲原診療所グループより二人が参加しました。一人は友の会を代表して花淵想さん（20歳）で職員は蒲原診療所の看護師、早川昌子さんです。二人とも被爆地を訪れるのは始めてのことです。
なお原水爆禁止大会参加報告会が8月23日（木）午後6

時よりかばらデイサービスで行われます。みんなで参加し「核兵器廃絶」の思いを語り合いたいと思います。

原水禁代表派遣の取り組み

かばらグループから世界大会に代表を送るため、「募金」のお願いと「カレーライス」の炊き出しとバザーを開催しました。



「カレーライス」の炊き出しを毎月1回、友の会役員の有志が中心になり作って販売して来ました。このカレーは職員と近隣の



友の会員の食に食べていただきました。この炊き出しで毎回、1万5千円

核兵器廃止を願い あだち平和行進

7月27日（金）2018年原水爆禁止広島大会に向けて足立平和行進が行われました。出発地の竹ノ塚第五公園には200名が集まりました。太鼓の音が響き始まりを告げ、足立区労連大滝議長の開幕の挨拶のあと、北海道礼文島から東京まで通し行進をしてこられた山内金久さんが日焼けした顔で登場



五月礼

文島出発の日は快晴ところが次の日零下まで気温が下がった。韓国の青年が3週間行進に加わってくれた事、沿道の皆さんの励ましに支えられここまで歩いてこられた」と挨拶、大きな拍手に包まれました。その後足立被爆者協議会代表の挨拶があり、原水協参加の各団体の代表から挨拶がありました。一年前の核兵器禁止条約に対し安倍政権が参加もしなければ、批准の署名もしない態度に怒り被爆者国際署名とともに3万署名を頑張つて集めようと決意を述べました。十時から梅島ベルモント公園まで2.8キロを暑い中、行進しました。

報告 渡名喜 史子

位の積み立てができました。材料費で「お米のカンパ」「野菜の寄付」などがあるのと、その分の積み立てが多くなり、財政的に大助かりになっていきます。
バザーは毎年、蒲原診療所1階の玄関ホールを会場に7月下旬に開かれてきました。バザーで売り出す商品は友の会員や職員から寄付された日用品や雑貨です。今年4日間2万円を越える売り上げがありました。



指に針をさしながら悪戦苦闘の折り鶴の糸通し作業

熱中症 レスキュー で予防 ナポリタンを食べながら 「いつでも元気」誌で学ぶ

あじさい班は6月27日、風の強い暑い中で開かれまして。この日は19人が参加しました。今回の昼食はナポリタン、サラダ、コンソメスープなどを作りました。ナポリタンの準備の際は元調理師で新役員の久保田さんがフライパンさばきもみごとに仕上げました。また、スイカやメロンの差し入れもあったので、とても豪華なランチとなりました。暑くならないように参加した全



元調理師のつくったナポリタンを食べながら交流

員で近況報告を行いました。この報告では「なかなかやせられない」「夫の病院通いが大変」など日常生活の様子が話されました。それをみんなでうなずきながら聞きました。今回の班会では「いつでも元気」(7月号)に載った「熱中症 レスキュー で予防」の所を読み合わせをして勉強しました。熱中症は梅雨明けから急に暑くなる8月上旬にかけてなりやすいこと。疲労、睡眠不足、二日酔いも熱中症の原因になり要注意だそうです。

予防の レスキュー
とは「レ」冷却「ス」水分補給「キュー」休息が大事だと学びました。

今回の班会では参加者からも熱中症の経験談が出されました。ひとりの人は昨日から熱中症に近い症状が出ながら、午前中休息をとり班会に参加したと話さ

利用者様に寄り添い職員「和」を大切にしています

昨年、8月にファミリアケア綾瀬は、ファミリアケア柳原のサテライトとしてファミリアケア柳原綾瀬営業所と名称を改め、運営を始めてきました。この夏丁度一年の節目を迎えました。人員体制では、柳原に応援を要請することが可能とい



和やかな事業所会議の風景

う利点がありますが、まだ軌道に乗り切れていないのが現状です。営業所の所在地は足立区東和3丁目にあり、綾瀬と亀有の中間に位置しています。毎日元気いっぱいにご利用者様のご自宅を自車で訪問させてもらっています。近くには蒲原診療所、その中に居宅支援事業所が設置されており、3階にはかばらデイサービスがあります。協議会が近接していることで、連携も取り易く素早い対応ができることも強みとなっています。

利用者様には、十年以上ご利用頂いている方も多く、ヘルパーは、利用者様のご家族と信頼関係も良好に保つことが出来ています。現在、37歳の自立支援の方から99歳の独居生活をされ

ておられるお元氣な女性の方まで、幅広い年齢層の方々にご利用頂いています。その中で、約六割の方が独居生活をされています。職員は、常勤一名非常勤七名と小規模ではありますが、全員経験豊富で頼り甲斐のあるメンバーで活動しています。

今後も、私たち訪問介護では、地域に根ざした在宅介護に取り組み、「住みなれた地域でその人がそのらしく」安心して暮らし続けることが出来るよう他職種の方々と連携を図り支援してまいります。

ファミリアケア柳原綾瀬
副所長 斎藤 潤子



乳腺外科医師えん罪事件 外科医師は無実です 9月12日から公判再開、傍聴しよう

本事件は16年5月10日に足立区の柳原病院で起きました。乳腺の手術を行った男性外科医師が、女性患者が手術直後わいせつな行為をされたと訴えられました。外科医師は無実を主張しています。4人部屋で当時は満室で

術後の看護のため頻りに看護師が入り込んでおり、たかさんの目がありとても犯行が行える状況ではありませぬ。医師が術後、患者の様子を診に病室へ訪れるのは通常の診療行為です。全身麻酔の術後で意識がもつろうとしている状態の患者の訴えで逮捕(3か月勾留)起訴したものでえん罪事件です。医療を守るため支援しましょう。

報告 美濃桂子